

総合的な学習の時間 「手話体験」

相模原市立鳥屋中学校



単元（題材）目標

- 福祉に関する種々の活動を通じて、福祉への関心を高める。
- 福祉を身近なものとしてとらえ、行動しようとする意識を育てる。
- 障がいがある方の講話を通して、障がいに対しての理解を深め、共生の心を育てる。

(1) 実施時期

平成 30 年 9 月 25 日（火）

(2) 対象（学年等・人数）

第 1 学年 17 名
学年職員 2 名



(3) 指導者（教諭・外部講師等）

社会福祉協議会の協力

- ・手話ボランティアの方 2 名
- ・要約筆記ボランティアの方 3 名



(4) 実施内容

○手話体験

- ・講師による手話の意義について学ぶ。
- ・講師の方から簡単な挨拶（こんにちは、ありがとう等）について学ぶ。
- ・手話の体験（自分の名前と簡単な自己紹介など）を行う。

○要約筆記体験

- ・要約筆記とは何かについて学ぶ。
- ・講師の方に要約筆記を実演してもらう。（書画カメラを使用し、大型テレビに投影。）
- ・実際に要約筆記を行う。

(5) 成果

- コミュニケーションツールとしての手話体験や要約筆記を通して、障がいのある方や福祉について理解を深めることができた。
- 手話に興味を持ち、簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。

<生徒の感想>

福祉は相手の立場に立って考えることが重要で、単に助けることだけではないことがわかった。

(6) その他

- 学校祭文化の部において、学んだことを全体で発表した。